

5年 道徳の年間指導計画例 (2018年～2019年)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 帰ってきた、はやぶさ 〔よりよい未来を創るもの〕 【主】A 真理の探究 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎真理を大切に、物事を探求し、よりよい未来を築こうとする。 【理解、判断力】 新しいものを求め、知力をもとにくふうすることは、人々のよりよい未来につながる事が分かる。 【心情】 真理を大切に、新しいものをつくり出そうと、研究やくふうを重ねた人の心に共感する。 【実践意欲と態度】 進んで新しいものを求め、真理を大切に未来を創ろうとする意欲をもつ。	1 小惑星探査機「はやぶさ」と國中教授の写真を見て知っていることを発表し合う。 2 「帰ってきた、はやぶさ」を読んで、進んで新しいことを求めることの価値について考える。 3 國中教授の生き方から学んだことをまとめ、話し合う。	○道徳の授業 ・「帰ってきた、はやぶさ」を読んで、よりよい未来に向けて進んで新たなものを求めることや、知力をもとにくふうすることの大切さを学ばせる。 ○学級活動 ・「エジソン」「ライト兄弟」「豊田佐吉」「松下幸之助」「本田宗一郎」や、ノーベル賞をとった人など、新しい時代を切り拓いた人たちの伝記を読んで、生き方から学んだことを発表させる。 ○調べ学習 ・夏休みの課題等で、新しい時代を切り拓いた人物についてもっと調べたり、自分自身の課題をもって、自由研究を深めたりさせる。
4月	2. 一枚の写真から 〔広がる心 深まる心〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 個性の伸長	◎生命のかけがえのなさを自覚し、自他の生命を尊重して生きようとする。 【理解、判断力】 「生きていこう」と、心の成長があることが分かる。 【心情】 自分の成長から、かけがえのない自分の命を大切にしたいと思う。 【実践意欲と態度】 希望をもって自分の生活を送り、他の生命も大切にしようとする。	1 「生きていこう」とは、どういうことか考える。 2 「一枚の写真から」を読み、「生きていこう」について考える。 3 自分の小さいころの写真と今の写真を比較し、自分の「生きていこう」を見つけて話し合う。 4 今日の学習から考えたことをワークシートに書いて伝え合う。	○道徳の授業 ・「生きていこう」とは何か話し合い、自分の「生きていこう」について考えさせる。 ○学級活動 ・自分の「生きていこう」をさらに探してカードにまとめ、友達と伝え合う機会を設け、家族にも伝えさせる。 ・道徳ノートや日記などに感想を記入させる。 ○学校での日常生活 ・学習から考えたことをもとに実践している姿を認め、励ましていく。 ・学期末に、自分や友達の「生きていこう」を探す活動を行い、まとめて掲示させる。
4月	3. ひみつのトレーニング 〔心のひもをしめる〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 個性の伸長	◎生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする。 【理解、判断力】 適度に「心のひもをしめる」ように、ほどよく自分をコントロールすることによって、自分の力が発揮できることが分かる。 【心情】 規則正しい生活のよさに共感する。 【実践意欲と態度】 自分の生活の中で、適度に心のひもをしめて節度ある生活をしようとする。	1 「ひみつのトレーニング」というタイトルから連想することを話し合う。 2 「ひみつのトレーニング」とはどんなトレーニングだったのかを話し合う。 3 自分たちの生活を振り返り、「心のひもをしめる」のはどんなときかを考える。	○道徳の授業 ・「ひみつのトレーニング」を読んで、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に努めることを心がけようとする。 ○学級活動 ・今の自分の生活を振り返り、自身の課題を考えさせる。そして、自分で決めた改善のための策を実行し、振り返らせる。
5月	4. シンボルマークにこめられたものは 〔マークに込められた願い〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】D 自然愛護	◎市町村等のさまざまなマークに込められた郷土への願いを知り、自分も伝統や文化を受け継ぎ、積極的に地域に関わっていこうという気持ちをもつ。 【理解、判断力】 市章等にはシンボルマークとしての郷土への願いが込められていることが分かる。 【心情】 自分の地域のマークのいわれから地域への先人の願いに気づき、もっと知りたいと思う。 【実践意欲と態度】 地域の伝統や文化を受け継ぎ、願いを込めてシンボルマークをつくろうという気持ちをもつ。	1 自分の市の市章はどんな意味をもつのか話し合う。 2 「シンボルマークにこめられたものは」を読み、シンボルマークにはどんな願いが込められているのかを考える。 3 自分たちの地域のシンボルマークにこめたい願いを考え、話し合う。	○道徳の授業 ・「シンボルマークにこめられたものは」を読んで、市町村等のさまざまなマークに込められた郷土への願いを知り、自分も伝統や文化を受け継ぎ、積極的に地域に関わっていこうという気持ちをもたせる。 ○日常生活 ・自分たちの住む地域のシンボルマークやキャラクターについて調べさせる。 ○図画工作 ・自分たちの地域への願いを込めてシンボルマークをつくらせる。
5月	5. 助け合い傘 〔みんなのために〕 【主】B 感謝 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎多くの人に支えられて自分が生きていることが分かり、それに感謝し、応えようとする。 【理解、判断力】 人は周囲の人に支えられて生活していることが分かり、その心に共感する。 【心情】 周囲の人に支えられて生きていることが分かり、感謝の気持ちをもつ。 【実践意欲と態度】 人のためになる、自分にもできそうなことを考え、実践への意欲をもつ。	1 私たちの生活を支えている人について発表し合う。 2 「助け合い傘」を読み、楠井さんの行動について考える。 3 みんなのために活動している人の思いを考える。	○道徳の授業 ・「助け合い傘」を読んで、人は多くの人に支えられて生活しており、それに感謝する心について考えさせる。 ・自分も周囲の人に支えられて生きていることがわかり、感謝させる。 ・自分にもできそうな、人のためになることを考え、実践への意欲をもたせる。 ○学級活動 ・自分たちの身近で、みんなのために活動している人を調べて、発表し合う場を設ける。 ○日常生活 ・自分もみんなのためにできることを考え、実際に活動させてみる。
5月	6. 氷上の挑戦 —浅田真央— 〔あきらめない心〕 【主】A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】B 感謝	◎自分の目標の実現のために自分のもっている力を一杯発揮して、最後まであきらめずに努力しようとする。 【理解、判断力】 あきらめずにできないことをやりとげようとする姿勢が、主人公を支えていることが分かる。 【心情】 主人公が、目標達成のためにさまざまな人に支えられ、創意工夫する中で努力してきたことに感動する。 【実践意欲と態度】 自分も自分の目標に向かってあきらめずに、努力し続けようとする気持ちをもつ。	1 道徳的価値について考えるを通して、課題意識をもってねらいとするテーマに取り組む。 2 「氷上の挑戦」を読み、浅田選手がどうして、あきらめないで挑戦を続けることができるのかを考える。 3 自分の夢や目標を実現するためにどうしたらよいかを考え、話し合う。	○日常生活・学級活動 ・浅田選手について調べさせる。 ・道徳的価値について考えさせる。「あきらめない気持ち」について具体的にさせる。(道徳ノートの活用) ○道徳の時間 ・「氷上の挑戦 —浅田真央—」を読んで、努力することの大切さについて話し合わせる。 ○日常生活・学級活動 ・自分を見つめ直し、振り返ることで今後の生活につなげさせる。 ・努力を積み重ねて目標を達成した人の話を調べさせ、お互いに紹介し合う場を設定する。 ・あきらめずに挑戦したいと思うことを発表し合わせる。
重点主題：広い心で、おたがいをまとめ合おう				
5月	7. まかせてみようよ 〔仲間を信じて〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする。 【理解、判断力】 自分と異なる考えをよく聞くことで、相手への理解が深まることが分かる。 【理解、判断力】 仲間の悩みを知り、励まし合って関係を深めていくことが、よりよい集団づくりに大切なことが分かる。 【心情】 共に相手の考えや立場を尊重し、互いに高め合うことのすばらしさに共感する。 【実践意欲と態度】 互いに高め合う集団を求めて、謙虚な心で相手を尊重し、自分の役割を見つけて実践していこうとする。	1 意見や考え方が違う仲間を認めていく方法について考える。 2 「まかせてみようよ」を読んで、相互理解の大切さについて考える。 3 今日の学習から学んだことを話し合う。	○係活動・宿泊学習など ・多くの友達と相談しながら、係活動を行ったり、宿泊学習の準備を進めたりする中で、意見が合わないときはどのようにしたらよいか考えさせながら活動させる。 ○道徳の授業 ・支え合う仲間になるために大切なことは何かを考えさせる。 ・自分と異なる考えをよく聞こうとすることによって、自分にはない相手のよさと、相手への理解が深まることを分らせる。 ○日常生活・宿泊学習など ・宿泊学習や係活動など生活の中で、友達と意見や考えが違うとき、相手の思いに目を向けて、よく話を聞いてみることで、相手の見方がどう変わるか確かめさせる。 ・相手のことを理解し、認めていこうとしているかどうかを見つめさせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
6月	8. みんなの劇 〔みんなで作る〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする。 【理解、判断力】 自分と異なる考えをよく聞こうとすることによって、自分にはない相手のよさと、相手への理解が深まることが分かる。 【理解、判断力】 仲間の悩みを知り、励まし合って関係を深めていくことが、よりよい集団づくりに大切なことが分かる。 【心情】 共に相手の考えや立場を尊重し、互いに高め合うことのすばらしさに共感する。 【実践意欲と態度】 互いに高め合う集団を求めて、謙虚な心で相手を尊重し、自分の役割をみつめて実践していこうとする。	1 集団で取り組む活動をよりよくするために、大切なことは何かを考える。 2 「みんなの劇」を読んで話し合う。 3 集団で取り組む活動をよりよくするために、自分が大切にしていきたいことを考える。	○日常生活・係活動など ・多くの友達と相談しながら、係活動を行ったり、宿泊学習の準備を進めたりする中で、意見が合わない時ほどのようにしたらよいか考えながら活動させる。 ○道徳の授業 ・みんなで高め合う集団に大切なことは何か考えさせる。 ・仲間の悩みを知り、励まし合うことによって、互いの関係を強くしていくことが大切であることを分らせる。 ○日常生活・発表会など ・学習発表会の練習や日常の学校生活の中で、仲間と高め合うことについて考え、実践させる。
6月	9. いっしょに何をしようかな 〔日本の紹介〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】D 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努めようとする。 【理解、判断力】 進と由紀子がマイクとジェーンといっしょに何をするかを考えることを通し、日本や地域のよさが分かる。 【心情】 外国の人に、日本のよさを紹介したいと感じる。 【実践意欲と態度】 世界の人々と仲よく生活したいと考える。	1 教材名から、何をするか考える。 2 「いっしょに何をしようかな」を読んで話し合う。 3 自分のこととして考える。 4 学習のまとめをする。	○読書活動など ・世界や日本を知る図書を紹介して貸し出ししたり、読書タイム等で読ませたりする。 ○外国語活動 ・外国の言葉について学習したり文化について触れさせさせる。 ○道徳の授業 ・「いっしょに何をしようかな」を読んで、外国の人との関わりを身近なものとして考えさせる。 ・日本や地域のよさを紹介したい、世界の人々と仲よく生活したいと考えさせる。 ○家庭学習 ・コラム「日本の世界遺産」を参考に、世界に誇れる場所やものについて調べさせる。 ・実際に外国に行ったことのある人や身近にいる外国人に話をしてもらい、外国の文化に触れさせる。
6月	10. 「また来てね」 〔誠実な心で〕 【主】A 正直、誠実 【関連】B 親切、思いやり	◎だれに対しても誠実に接し、明るく生きていこうとする。 【理解、判断力】 「誠実」とは、だれに対しても真心をもって行動しようとする態度であることが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方に共感することができる。 【実践意欲と態度】 自分も、相手のことを考え、真心をもって誠実な態度で生きていこうとする意欲をもつ。	1 何かに一生懸命取り組んでいる人のことをどう思うか考える。 2 「また来てね」を読んで、「誠実な心」について話し合う。 3 人に対してどういう気持ちをもって接することが大切なのか考える。	○日常生活 ・「何かに一生懸命に取り組んでいる人を見つけてみよう。」と投げかけておき、1週間、自分の周りの一生懸命な人を探させておく。 ○道徳の授業 ・「また来てね」を読み、誠実な生き方について考えさせる。 ○日常生活 ・麻衣さんや紗季さんのように行動できている友だちを見つけて、よいところをカードに書き貼り出す。
6月	11. ガンジーのいかり 〔正義をつらぬいた人〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】D よりよく生きる喜び	◎だれに対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平に接し、正義の実現に努めようとする。 【理解、判断力】 人はだれであっても一人の人間として尊重されるものであり、差別や偏見によって人権を奪われないものであることを知る。 【心情】 社会や身の回りにある差別や偏見に気づき、それが間違ったことであることに共感・納得する。 【実践意欲と態度】 自分には何ができるのかを問いかげながら、だれにでも公正、公平に接し、正義の実現に向けて努力しようとする。	1 自分がこれまでに見聞きしてきた偏見や差別と、そのことに対する自分たちの気持ちや考えを共有し、学習テーマにつなげる。 2 ガンジーが大切にしているものを考えながら、「ガンジーのいかり」を読む。 3 差別を受けたガンジーが差別撤廃運動を始めようとしたわけは何かについて話し合う。 4 ガンジーの訴えが人々の心を捉えたその心について考える。 5 ガンジーの生き方から学んだことをまとめ、自分の目標を振り返る。	○社会科 ・ガンジーについて調べさせる。 ○日常生活 ・新聞などから、差別や偏見に立ち向かう人々の活動を調べさせる。 ○道徳の時間 ・「ガンジーのいかり」を読んで、だれにでも公正、公平に接することの大切さを考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・差別や偏見をなくすために努力している人々の活動を調べさせる。
7月	12. 日本の心とかたち 一真・行・草一 〔心とかたち〕 【主】B 礼儀 【関連】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。 【理解、判断力】 時と場に応じたおじぎのしかたがあることを知る。 【心情】 真心を伝えようとかたちだけでなく、心が込もっている「おじぎ」をしようとした女の子の心に共感する。 【実践意欲と態度】 「真・行・草」の由来のすばらしさと日本に伝わる礼儀作法やそれが生まれた背景を知り、日常生活で心とかたちが一つになったおじぎをしてみたいという意欲をもつ。	1 日常生活でどんなあいさつをしているか振り返る。 2 「日本の心とかたち」を読み、おばさんが美智子さんに対して「すてき」と思った理由について考える。 3 おばさんの言葉のもととなっているものを考える。 4 紀子が「行のおじぎ」をした思いについて考え、自分も「行のおじぎ」をしてみたいという意欲をもつ。	○道徳の授業 ・「日本の心とかたち 一真・行・草一」を読んで、相手や状況に応じておじぎ使い分け、心とかたちを一体化させたおじぎやあいさつをするよさについて話し合わせる。 ○学級活動・日常生活 ・日常生活でも、意識してあいさつやおじぎを使い分けようようにさせる。朝の会や帰りの会で、真のおじぎや行のおじぎができていない人を紹介し合わせる。 ○家庭との連携 ・「真・行・草」のおじぎや、日本のあいさつ、伝統的な礼儀作法について家族でも話し合わせ、日記などに書かせる。
7月	13. 海を耕す人たち 〔自然を守る〕 【主】D 自然愛護 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自然と共存していくために、自分なりの方法で自然環境を大切にしようとする。 【理解、判断力】 科学技術を使って水産資源を増やそうと努力している人々の存在を知り、自然環境を大切にしようという営みにはさまざまな形があることを理解する。 【心情】 自然との共存を図ろうと努力している人たちの自然環境を守ろうとする心に感動する。 【実践意欲と態度】 自然と共存していくために、自分にできる自然環境を大切にしようとする方法を考えようとする。	1 自然を守ることにについて話し合う。 2 「海を耕す人たち」を読み、自然を守ることにについて考える。 3 自然を守ることにについて話し合う。 4 自分の考えをまとめる。	○理科 ・「動物の誕生」の学習で、メダカの卵の変化を観察することや、人の発生について調べることを通して、生命の崇高さを感じさせる。 ○社会科 ・「水産業」の学習で、水産業の盛んな地域の事例を調べることを通して、水産業が自然環境と深い関わりをもつて営まれていることを考えさせる。 ○道徳の授業 ・「海を耕す人たち」を読んで、自然を大切にすることについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・「自然環境を守ろうとしている人」を調べさせる。 ・学級や家庭でもできる「自然環境を守る活動」を話し合わせ、実践化を図る。 ○道徳の授業 ・「自然を守るエゾリス」を読んで、自然の仕組みについて話し合うことを通して、自然の偉大さを感じ取らせる。
9月	14. ドッジボールを百倍楽しくする方法 〔勝つよりもすてきなこと〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎よい友達とは、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う関係であることが分かり、自分も周りにいる友達とよりよい友達関係を築いていこうとする思いを高める。 【理解、判断力】 主人公のクラスがよりよく変わったのは、わたしや駿君などが互いのよいところを認め、相手の考えを取り入れてよりよくなるという思いをもって接することができたからであることが分かる。 【心情】 クラスの友達どうしが互いに認め合い、支え合うことで友情を深めた姿に感動する。 【実践意欲と態度】 そのような友達関係に憧れをもち、自分も周りにいる友達とよりよい関係を築いていこうとする思いを高める。	1 よい友達とはどのような友達か考える。 2 「ドッジボールを百倍楽しくする方法」を読んで、主人公のクラスの友達関係の変容を考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・男女の隔てなく接するよう促す。 ○道徳の授業 ・「ドッジボールを百倍楽しくする方法」を読んで、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う友達関係のよさについて考えさせる。 ○読書活動 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語の中から、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う友達関係を見つけて紹介し合わせる。 ○日常生活 ・男女の隔てなく接したことでよりよい成果が上がった出来事を紹介し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	15. 「スイミー作戦」「ガンジー作戦」 〔いじめに負けないために〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎だれに対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平に接しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 「あだ名」が人によっては、嫌な気持ちになることに気づく。 【心情】 「嫌なことは相手に伝える」ことが大切だと分かる。 【実践意欲と態度】 「いじめ」をなくすにはどうしたらよいかを考えることを通して、差別したり偏見をもったりせず友達に接しようとする。	1 「デジタル道徳」ワークシートの「いけない指数」を記入し、グループで指数の違いを話し合う。 2 「スイミー作戦」「ガンジー作戦」を読んで、「いじめ」について話し合う。 3 「スイミー作戦」「ガンジー作戦」について話し合う。 4 ガンジーの訴えが人々の心を捉えたその心について考える。 5 学習したことをまとめ、自分の目標を振り返る。	○学級活動 ・「デジタル道徳」ワークシートの「いけない指数」を記入し、不快感を自己採点させる。 ・グループで上記の指数のちがいについて話し合わせる。 ○道徳の授業 ・「スイミー作戦」「ガンジー作戦」を読んで話し合わせる。 ○学級活動・日常生活 ・「いじめ」のないクラスにするにはどうしたらよいかを話し合わせる。 ・「スイミー」を読み直したり、「ガンジー」について調べさせたりする。
9月	16. 短所も長所 〔自分らしさを発揮して〕 【主】A 個性の伸長 【関連】B 相互理解、寛容	◎自分の特徴を知り、短所を改め、長所を積極的に伸ばしていこうとする。 【理解、判断力】 ものごとや人にはいろいろな見方があり、観点を変えれば、短所も長所になることが分かる。 【心情】 友達が見つけてくれた自分のよさに気づき、自分の中の長所を発見したり変えたいと思ったりした誠の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自分らしさを考えることを通して自分の特徴を知り、短所を改め、長所として伸ばしていこうとする。	1 「自分らしさ」とは何かについて話し合う。 2 「短所も長所」を読んで話し合う。 3 「友達目」カード、「自分の目」カードを書き、交換する。	○道徳の授業 ・「短所も長所」を読んで話し合い、自分の特徴を知り、自分の悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばしていこうという思いをもたせる。 ・「友達目」カードや「自分の目」カードを作成し、自分のよさについて考えることを通して「自分らしさ」について考えさせる。 ○学級活動 ・道徳の時間に作成した「自分の目」カードや「友達目」カードをもとにして、友達から見たよいところとそれに対する自分の思いを「自分の目」カードにまとめさせる。 ○帰りの会 ・帰りの会で友達のよいところを認め合う時間をとり、自分の長所に自信をもたせる。 ○家庭 ・「友達目」カードの保護者版を持ち帰らせ、保護者からカードを記入してもらい、「自分の目」カードに記入することで、長所を伸ばしていくにはどのようにしたらよいのかを考えさせる。
9月	17. セルフジャッジ 〔セルフジャッジ〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、 自由と責任	◎きまりが何のために存在するのかを考えることを通してその意義を理解し、進んでそれを守り、自分の義務を果たしていこうとする。 【理解、判断力】 主人公たちのようにルールを破り、好き勝手にすればするほど、自分にとっても周りの人にとっても楽しい生活にはつながらないことを理解する。 【心情】 セルフジャッジすることの難しさを痛感している「ぼく」の気持ちに共感する。 【実践意欲と態度】 「ぼく」たちと同じようにルールを破ろうとする心が自分にもあることを自覚し、「ぼく」たちようにはなりたくないと考え、進んでルールを守っていこうとする。	1 きまりについての考えを話し合う。 2 「セルフジャッジ」を読み、きまりを守る大切さについて考える。 3 きまりの存在意義について考える。 4 自分の考えをまとめる。	○体育科 ・ボール運動の学習において、セルフジャッジで試合に取り組むことを通して、ルールの大切さを感じ取らせる。 ○道徳の授業 ・「セルフジャッジ」を読んで、法やきまりは何のためにあるのかについて考えさせる。 ○体育科 ・ボール運動の学習において、自分たちでルールをくふうし、それを守り試合に取り組むことを通して、ルールの大切さを感じ取らせる。 ○学級活動 ・学級や学校にあるルールやきまりについて、それが存在する理由を話し合わせる。
10月	18. 世界の文化遺産 〔日本の文化遺産〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国 や郷土を愛する態度 【関連】C 国際理解、国際親善	◎日本の文化遺産に興味をもち、その文化的価値を考え、我が国の文化を大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 世界の文化遺産に登録された日本の文化遺産にはどのようなものがあるかが分かる。 【心情】 文化遺産の価値や、それを先人が守り育ててきたことに感動する。 【実践意欲と態度】 日本や郷土の文化に興味をもち、それを大切にしていこうとする。	1 世界遺産について話し合う。 2 「世界の文化遺産」を読んで、文化遺産として認められた理由を考える。 3 今日の授業で学んだことをまとめ、今後の活動について話し合う。	○社会科 ・日本の地理や風土の特徴とそれぞれの土地に生きる人々の暮らし方や産業について理解を深めさせておく。 ○道徳の授業 ・「世界の文化遺産」を読み、厳島神社が世界遺産として認められた理由を考えさせる。 ・佐々木君の自由研究のよさについて話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・日本の文化や郷土の文化について調べさせ、その結果を発表会や掲示物にまとめて発表させる。
10月	19. 家族の紹介 〔家族の紹介〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 相互理解、寛容	◎父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをしようとする。 【理解、判断力】 自分の家族のことを、どのくらい知っているかが分かる。 【心情】 家族のことについて知らないことがあることに気づき、もっと知りたいと思う。 【実践意欲と態度】 家族について調べたり聞いたりする活動から、家族の思いについて考え、家族のために何かしたいと思う。	1 家族がしてくれていることについて考える。 2 「家族の紹介」を読んで、「ぼく」の思いについて考える。 3 自分の家族について知っていることをグループで紹介し合う。 4 「家族知ってるつもりビンゴゲーム」のやり方を知る。 5 学習のまとめと次の活動に向けての話を聞く。	○日常生活など ・家族についての日記を書かせる。 ○道徳の授業 ・「家族の紹介」を読んで、自分の家族について知っていることや、知らなかったことについて考えさせる。 ○家庭との連携 ・「家族知ってるつもりビンゴゲーム」を家族と行わせ、まとめさせる。 ○特別活動 ・家族についてもっとよく知りたいと思ったことをインタビューし、「家族新聞」をつくらせる。 ・家族の一員として、自分にはどんなことができるか考えて、実行させる。
10月	20. 変えたもの・変えなかったもの —内川聖一— 〔自分をのばすもの〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 善悪の判断、自律、 自由と責任	◎自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばそうとする。 【理解、判断力】 自分の特徴を知れば、短所を改め長所を伸ばすことにつながる事が分かる。 【心情】 自分の特徴を知り、長所を伸ばすことで成長した生き方に感動する。 【実践意欲と態度】 自分の長所を伸ばし、短所を改め、自分の成長につなげようとする意欲をもつ。	1 自分の特徴について振り返る。 2 「変えたもの・変えなかったもの」を読んで、自分の長所や短所につながる価値について考える。 3 これから大切にしていきたい自分の長所を明らかにする。	○道徳の授業・学級活動 ・「16 短所も長所」で学習したことを思い出したり、「自分の目」カードを見直したりして、自分や友達の長所や短所を明らかにさせる。 ○道徳の授業 ・「変えたもの・変えなかったもの」で、内川聖一の長所について学習し、自分のこれからのために改めたい短所や、さらに伸ばしていきたい長所を明らかにさせる。 ○日常生活 ・道徳の時間に明らかにした、短所を改めたり長所を伸ばしたりするための方法を決定し、実行させる。 ○読書活動 ・著名人の本を読んで、その人の長所や、短所を改めたところを見つけさせる。
10月	21. 星が光った 〔人間の力をこえたもの〕 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】D 生命の尊さ	◎星空など美しい風景を生み出す大自然の摂理について感動し、それらを包み込む大いなるものに気づくことを通して、それらに畏敬の念をもつ。 【理解、判断力】 人間の歴史と地球の歴史を比べることを通して、地球の誕生からこれまでの約四十六億年という時間がどれほど長いものなのかを理解する。 【心情】 人間が美しいと感じる自然を構成するもの全てが、地球が気の遠くなるような長い時間をかけて育んできたものであることに感動する。 【実践意欲と態度】 美しい風景や大自然の摂理を生み出す大いなるものに対して、畏敬の念をもって生きようとする。	1 「美しい自然」について話し合う。 2 「星が光った」を読み、人間の力をこえたものについて考える。 3 人間の力をこえたものについて考える。	○学校行事 ・臨海学校や林間学校など自然の中での合宿を通じて、自然の美しさや自然の中で過ごす心地よさを感じ取らせる。 ○道徳の授業 ・「星が光った」を読んで、人間の力をこえたものについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・インターネットや本などで、人間の力をこえたものを探す活動に取り組みさせる。 ・各自が調べてきたことを発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
11月	22. 約束 〔けんきょな心で〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】B 親切、思いやり	◎相手の立場に立って考えることにより、謙虚な心生まれることに気づき、広い心で接していこうとする。 【理解、判断力】 相手が置かれている状況を自分のこととして考えることにより、謙虚な心生まれることが分かる。 【心情】 相手の立場に立って考えることのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 相手が置かれている状況を自分のこととして考え、互いの意見を交換し、互いに理解しようとする。	1 携帯電話やスマートフォンでのトラブルを想起させる。 2 「約束」を読み、「謙虚な心」について考える。 3 今日の学習から学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「約束」を読み、謙虚な心で接することの大切さについて考える。 ○学級活動 ・コラム「情報モラル」を活用し、スマートフォンなどの情報機器との上手なつきあい方について話し合わせる。 ○家庭 ・携帯電話やスマートフォンを利用した、インターネットの正しい使い方について、家族と話し合わせる。
11月	23. 命をかけて命を守る 一山岳警備隊— 〔大切な命を守る〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の命がたくさんの人たちに支えられている命であることが分かり、自分の命を大切に周囲の人と支え合って生きようとする。 【理解、判断力】 山岳警備隊の人は、命をかけてかけがえのない命を守っていることが分かる。 【心情】 自分の命をかけてまでも遭難者の命を助けようとする横山さんの生き方に感動する。 【実践意欲と態度】 自分や友達の命が周囲の人たちに支えられた、かけがえのないものであることに気づき、自他の命を大切に生きようとする。	1 命を守る仕事にはどのようなものがあるかを発表する。 2 「命をかけて命を守る」を読み、命の大切さと、それを守るために働く人の思いを考える。 3 自分たちの周囲にも、命を支えている人たちがいることから、自分たちの命の大切さについて話し合う。 4 学習を振り返って、考えたことを書き、発表する。	○道徳の授業 ・「命をかけて命を守る」を読んで、かけがえのない命を守るために働く人たちの思いや、命の大切さについて考えさせる。 ○学級活動 ・自分や他の人の命も家族や周囲に支えられている命であることを思い、自他の命を大事にしていくためにできることを考えて、友達と伝え合わせる。 ○家庭 ・自分や他の人の命も家族や周囲に支えられている命であることを思い、自他の命を大事にしていくためにできることを家族とも話し合い、実践させる。
重点主題：ささえ合う命				
11月	24. 生きる力を引き出す笑い 〔自分の生きる力を信じて〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎自分たちに「生きようとする力」があることが分かり、自分も周囲の人と支え合い、高め合って生きようとする。 【理解、判断力】 「笑い療法士」の活動やお母さんの言葉から、自分の中に「生きようとする力」があることが分かる。 【心情】 全ての人が「生きようとする力」をもっていることに感動する。 【実践意欲と態度】 自分の中にも「生きようとする力」があることに気づき、笑顔で支え合い、高め合って自分たちの命を輝かせようとする。	1 「命を支える人たち」はどのような人たちかを発表し合う。 2 「生きる力を引き出す笑い」を読み、「生きようとする力」について考える。 3 よりよく生きるということはどういうことか考え、話し合う。 4 今日の学習から考えたことを書く。	○道徳の授業 ・「生きる力を引き出す笑い」を読んで、「笑い」のもつ力や「生きようとする力」から、よりよく生きることについて考えさせる。 ○帰りの会 ・帰りの会で、笑顔で支え合ったり高め合ったりすることができた場面を紹介させる。 ○学級活動 ・学期末などに、学期の中でみんなで笑顔で支え合ったり、高め合ったりした場面を、感想を加えて学級でまとめる活動を行わせる。
11月	25. 母の仕事 〔働くことの意義〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎働くことの意義を理解するとともに、人々のために役立つ仕事をしようとする。 【理解、判断力】 勤労は自分の生活のためだけでなく、社会生活を支えるものであることを理解する。 【心情】 人のために働くことで得られる喜びや成長があることを知る。 【実践意欲と態度】 自分にできることは何かを考え、社会に奉仕し、公共のために役に立とうとする。	1 いろいろな職業について話し合う。 2 「母の仕事」を読む。 3 ひろ子の心の変化について考える。 4 働くことの意義についてまとめる。	○道徳の授業 ・「母の仕事」を読み、母の姿や考え方を通して働くことの意義について話し合わせる。 ・事前に興味のある仕事について調べたり、働くということについて考えたりさせる。 ○総合的な学習の時間 ・身近な仕事や興味のある仕事、自分が将来就きたい仕事について調べ学習をしたり、大人にインタビューしたりさせる。 ・働くことの意義を踏まえ、働くことは社会貢献であると共に自己を高めることであるという視点でまとめ、発表させる。 ○特別活動・日常生活 ・自分たちの係活動や委員会活動などを見直し、よりよい活動内容を考えて実践させる。 ○家庭科 ・家族の役割について考えを深めさせる。 ・家庭での役割を振り返り、自分にできることを考えて実践させる。
12月	26. 藤井駅のホームのできごと 〔親切を生むもの〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎人には、困っている人を見ると放っておけない心があることが分かり、だれに対しても思いやりの心をもって接しようとする。 【理解、判断力】 「わたし」がおばあさんに気づいたり、お母さんが声をかけたりしたのは、困っている人を放っておけない心があるからであることが分かる。 【心情】 「わたし」やお母さんの、困っている人を見ると放っておけない心に共感する。 【実践意欲と態度】 困っている人を見ると放っておけない心は自分にもあることを自覚し、その心をもとにして行動しようとする。	1 親切な人を想起し、その人が親切な行動ができる理由を考える。 2 「藤井駅のホームのできごと」を読んで、困っている相手を見ると放っておけない心について考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○朝の会・帰りの会 ・困っている人を放っておかず助けている子どもの話題を出したり、そのような内容に関する新聞記事を紹介したりする。 ○道徳の授業 ・「藤井駅のホームのできごと」を読んで、「わたし」やお母さんの行為から見えてくる、困っている相手を見ると放っておけない心について考えさせる。 ○学級活動 ・身近にいる親切な人をもう一度探し、親切だと思った理由を友達どうして伝え合わせる。
12月	27. 自然を守るエゾリス 〔自然のしくみ〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 感動、畏敬の念	◎動物と植物が共存していることについて知り、自然の偉大さについて感動することを通して、自然環境を大切にしようとする。 【理解、判断力】 エゾリスとクルミの木やカシワの木が共存・共生することで互いの生命をつないでいることや、広大な北海道の大地を守ってきたことを理解する。 【心情】 エゾリスのような小さな生き物が、広大な北海道の大地を守っているという自然のしくみに感動する。 【実践意欲と態度】 美しい風景や大自然を生み出している自然のしくみに畏敬の念をもち、自然環境を大切にしようとする。	1 「生き物どうしの共存・共生」について話し合う。 2 「自然を守るエゾリス」を読み、自然の仕組みについて考える。 3 自然の仕組みの大切さについて考える。 4 自然の仕組みを守るためにできることを考える。	○道徳科 ・「13 海を耕す人たち」を読んで、自然を大切にすることについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・各自が調べてきたことについて発表させる。 ・学級や家庭でもできる「自然環境を守る活動」を話し合わせ、実践化を図る。 ○道徳の授業 ・「自然を守るエゾリス」を読んで、自然の仕組みについて話し合うことを通して、自然の偉大さを感じ取らせる。 ・自然の仕組みを守るためにどのようなことができるかを考え、まとめさせる。 ○総合的な学習の時間 ・各自が考えた「自然の仕組みを守る活動」を発表させる。 ・自分たちにできる「自然環境を守る活動」を話し合わせ、行動させる。 ○家庭 ・自然環境を守るために、家庭でできることを家族と話し合い、行動させる。
1月	28. 救急車 〔守られるべきこと〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C 勤労、公共の精神	◎自分の権利と同様、他者の権利を大切にするという義務を理解し、進んで互いの権利を尊重しようとする。 【理解、判断力】 救急車などの公共物を自分勝手な使い方をする、必要としている人に迷惑がかかることが分かる。 【心情】 自分だけでなく、他人の権利も尊重しようとした「ぼく」の行動によさを感じる。 【実践意欲と態度】 日常生活の中で、互いの権利を尊重していこうとする。	1 救急車は何のためにあるのかを考える。 2 「救急車」を読み、互いの権利を守るとはどのようなことか考える。 3 自分の権利と同じようにみんなの権利を考える必要があることには、どんなことがあるか考える。	○道徳の授業 ・自分の権利と同様、他者の権利を大切にするという義務を理解し、互いの権利を尊重し合うことについて考えさせる。 ○学級活動 ・身の回りで自分やみんなの権利が守られていることを探して、発表させる。 ○日常生活 ・高学年として、社会生活上のきまりやマナーを守る意義を理解し、積極的に行動することを促す。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
1月	29. 心の管理人 〔自分の心が見ている〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 節度, 節制	◎自由を大切に, 規律ある行動をとろうとする。 【理解, 判断力】 自由というのは, 好き勝手によいということではなく, 自己管理(規律)が伴うことであることが分かる。 【心情】 自律が伴う自由を大切にすることでよりよい生活につながることを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の心に規律をつくり, それをもとにした自由な発想をして行動しようとする。	1 「自由」の概念を出し合う。 2 「心の管理人」を読んで, 3つの場面について状況を把握する。 3 「心の管理人」とはどのような意味なのかを考える。	○道徳の授業 ・「心の管理人」を読んで, 場面ごとに比較させたり, 関連させたりして, 自由であることについて考えさせる。 ○学級活動 ・「自由に〇〇しなさい」という指示に対し, どのように行動したか, それによってどのような成果が得られたか, 自分や友達はどのように感じたかなどを, 標語などの言葉に表現させる。 ○日常生活 ・日常生活の中で「自由」に行動することを求められる場面において, その場面でどのような考えに基づいて行動するのがよいか想定させる。
2月	30. ふるさと 一六年生を送る会 ― 〔わたしたちの学校〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】B 感謝	◎学校を支えている人々の思いを知り, 自分たちでよりよい学校をつくろうとする。 【理解, 判断力】 学校の人々が, 学校を支えている, その思いが分かる。 【心情】 よりよい学校生活を送るためには, みんなで協力し合わなければならないことに気づく。 【実践意欲と態度】 よりよい学校をつくるために, 自分たちが何をしなければならぬかを見つけ, 役割を自覚して活動しようとする。	1 自分の学校のことについて話し合う。 2 「ふるさと」を読んで, 学校で続けられていることの意味について考える。 3 自分たちの学校について振り返って, 考える。	○特別活動や日常生活など ・「六年生を送る会」などの児童会行事の準備を児童中心に行わせる。 ・学校で伝統的に続けられていることを調べさせる。 ・6年生が続いていることなどに注目させる。 ○道徳の授業 ・「ふるさと」を読んで, 学校を支えている人々の思いについて考えさせる。 ・よりよい学校をつくっていくために自分たちがすべきことを考えさせる。 ・自分たちの学校を支えている人たちの思いを探させる。 ○特別活動 ・自分たちはどんなことを受け継いでいきたいかを考えさせ, 6年生に向けて発表させる。 ・みんなで協力して児童会行事などを準備させる。
2月	31. ミレーとルソー 〔本当の友だち〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 親切, 思いやり	◎本当の友達とは, 相手の立場や思いを理解し, 互いに信頼し合う関係であることが分かり, 自分も周りにいる友達と友情を深めていこうとする思いを高める。 【理解, 判断力】 ルソーの行為は, ルソーがミレーの立場や思いを理解し大切に思う心や, ミレーがルソーのことをわがことのように大切に思う心から生まれていることが分かる。 【心情】 二人が互いに思い合い, 信頼し合う深い友情で結ばれていることに感動する。 【実践意欲と態度】 そのような二人の姿に憧れをもち, 自分も周りにいる友達と友情を深めていこうとする思いを高める。	1 本当の友達だからできることを考える。 2 「ミレーとルソー」を読んで, 真の友達関係について考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・相手の立場や思いを考えて友達と接するよう促す。 ○道徳の授業 ・「ミレーとルソー」を読んで, 相手の立場や思いを理解し, 互いに信頼し合う友達関係について考えさせる。 ○読書活動 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語の中から, ミレーとルソーのように, 相手の立場や思いを理解し, 互いに信頼し合っている友達関係を見つけて紹介し合わせる。
2月	32. 富士観測所をつくるために 〔目標に向かって〕 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】A 真理の探究	◎より高い目標をもって, 自分のもっている力を一杯働かせて生きることのすばらしさが分かり, そのような生き方に心を動かし, 自分もそのような生き方をしようとする。 【理解, 判断力】 ものごとを成し遂げるには, 強い目的意識をもち, 粘り強く実行する力が大切であることが分かる。 【心情】 人々のためになる目標をもち, 自分のもっている力を一杯発揮して生きていくことのすばらしさに感動する。 【実践意欲と態度】 目標を成し遂げるためには, どうすればよいかを考え, 実行しようとしている。	1 目標に向かうために大切なことについて考える。 2 「富士観測所をつくるために」を読み, 努力の質について考える。 3 自分の目標に向かって, どのように取り組んでいくかを考える。	○日常生活・学級活動 ・「ものごとを成し遂げるのに大切な心」について考えさせる。 ○道徳の時間 ・「富士観測所をつくるために」を読んで話し合わせる。 ○学級活動 ・野中到さんの生き方に学んだことをもとに, 自分たちの生活にどう生かしていきたいか発表し合わせる。 ・野中到さんと同じように, 目標に向かって努力した人について調べさせる。
重点主題: わたしにできること				
2月	33. 明日へ向かって 〔ささえ合う心〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】B 親切, 思いやり	◎社会に奉仕する喜びを味わうと共に, 公共のために役立つことをしていこうとする。 【理解, 判断力】 「助け合う心」や「人に役立つ心」をもって社会を支えていこうとすれば, 人に喜ばれ, 心が通い合うようになることが分かる。 【心情】 被害を受けながらも, 社会のために自分ができることを見つけて活動を進めず姿や, 活動の成果に触れることを通して, 自主的に働くことの価値を感じ取る。 【実践意欲と態度】 社会の役に立つためにできることに興味をもち, 調べていこうとする。	1 自分が実際にボランティア活動をする側になって考える。 2 「明日へ向かって」を読んで話し合う。 3 「求められる支援の移り変わり」「復興への思い」を読んで自分の思いをまとめる。	○日常生活 ・東日本大震災の被害とボランティア, 復興の状況等を調べさせる。 ○道徳の授業 ・被災地の中学生が地域社会のために立ち上がる姿に触れることを通して, 自主的に働くことの価値について考えさせる。 ・ボランティア活動をするときには, どのような思いですることが大切なのかを理解させる。 ○総合的な学習の時間など ・災害やボランティアの実態について調べ活動を行い, 感じたことをまとめさせる。
3月	34. ちひろの思い 〔わたしにできること〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】B 親切, 思いやり	◎社会に奉仕する喜びを味わうとともに, 公共のために役立つことをしていこうとする。 【理解, 判断力】 「思いやりの心」や「人に役立つ心」をもって社会を支えていこうとすれば, 喜びが感じられるようになることが分かる。 【心情】 大規模な災害ボランティアであっても, 身近なボランティアであっても, その根底には人や社会に役に立つとすることを感じる。また, その心は自分にもあることをつかむ。 【実践意欲と態度】 社会の役に立つために自分ができることを見つけ, 実際に進めていこうとする。	1 自分が実際にボランティア活動をする側になって, 考えてみる。 2 「ちひろの思い」を読んで話し合う。 3 自分でもボランティアを進めてみようとする。	○総合的な学習の時間など ・災害やボランティアの実態について調べ活動を行い, 感じたことをまとめさせる。 ○道徳の授業 ・ちひろが感じた喜びについて考えることを通して, 身近なボランティアを行うときに大切なことは何か考えさせる。 ・相手を思いやる心を行動に表すことによって, 相手に喜ばれ, それが自分の喜びとなることを理解させる。 ○総合的な学習の時間など ・自分ができることを見つけ, そして実践していく中で, 社会に対する奉仕的な活動の成果を実感させる。
3月	35. マララ・ユスフザイ ― 人の少女が世界を変える― 〔強い思いをもって, よりよく生きる〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】C 公正, 公平, 社会正義	◎よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し, 人間として生きる喜びを感じ, 自分にとってのよりよい生き方を見つけようとする。 【理解, 判断力】 マララさんの行動やその目的を理解する。 【心情】 マララさんの生き方の強さと気高さに感動する。 【実践意欲と態度】 マララさんの生き方から人間の気高さを理解し, 少しでも自分につながることを探して, 自分にとってよりよい生き方を見つけようとする。	1 本時の学習課題を知る。 2 「マララ・ユスフザイ」を読んで, よりよい生き方について考える。 3 自分との関わりを考える。	○家庭学習など ・インターネットや本で, マララさんのことについて調べさせる。 ・偉人伝などを読んで, 感想文などを書き, 偉人たちの生き方について考えさせる。 ○道徳の授業 ・「マララ・ユスフザイ」を読んで, マララさんの生き方から「生きる喜び」とは何かを考えさせる。 ○家庭学習・日常生活など ・マララさんの本や「マララ・デー」「ノーベル平和賞受賞」のスピーチなどを紹介したり読ませたりして, もう一度マララさんの生き方について考えさせる。 ○特別活動 ・5年生としての1年間を振り返らせ, 道徳の授業で学んだことも含めて, 6年生に向けた作文を書かせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	36. うばわれた自由 〔本当の自由とは〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 節度, 節制	◎「自由」と「わがまま」の違いを意識し, 規律ある行動をとろうとする。 【理解, 判断力】 「自由」と「わがまま」の違いが, 「自律」の観点から判断できる。 【心情】 本当の自由を大切にするために行動したガリユーの思いに共感する。 【実践意欲と態度】 「わがまま」に行動してしまう人間の弱さを踏まえ, 「本当の自由」を大切にしていこうという意欲をもつ。	1 「心の管理人」で学んだ「自由」について振り返る。 2 「うばわれた自由」を読み, 「心の管理人」で学んだことをもとに, ガリユーの思いを中心に考えていく。 3 自分たちにとっての「本当の自由」とはどのようなことなのかについて考える。	○学級活動 ・自分の心を自分で管理することができるかを振り返らせる。 ○道徳の授業 ・「うばわれた自由」を読み, 「本当の自由」と「わがまま」の違いについて考え, 自ら決まりを守ったり, つくったりしながら, 責任と自律のある暮らしの中に「本当の自由」があることについて話し合わせる。 ○学級活動 ・学級や家庭で「本当の自由」がある生活をしていくために大切なことを, 話し合ったり, 自分で決めたりして実行させるよう促す。
付録	37. 手品師 〔誠実に生きる〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】B 親切, 思いやり	◎他人にも, 自分自身に対しても, 誠実に明るく生きていこうとする。 【理解, 判断力】 「誠実さ」とは, 自分の良心に従い真心をもって行動しようとする態度であることが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方に共感し, 感動することができる。 【実践意欲と態度】 誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ, 同じような心が自分にもあることがわかり, それを高めていこうとする。	1 今までに本気で悩んだ場面を想起させながら, どのように判断していけばよいのかという課題をもたせる。 2 「手品師」を読んで, 誠実に生きる意味について考える。 3 「手品師の生き方」について考える。	○道徳の授業 ・「手品師」を読み, 誠実な生き方について考えさせる。 ○学級活動 ・「誠実に生きる」とはどのようなことか1週間考えたことを, 話し合い深め合わせる。 ・本や身の回りで誠実だと思う人を探し, どうしてそのように思うのか話し合わせる。
付録	38. バスと赤ちゃん 〔思いやりの心〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】B 相互理解, 寛容	◎思いやりがある人は相手の様子や立場からその人の思いを察する心をもとにして行動できる人だということが分かり, 自分も相手の様子や立場から思いを考えて行動していこうという思いを高める。 【理解, 判断力】 バスの運転手さんが赤ちゃんを抱いているお母さんの気持ちが分かったのは, お母さんや赤ちゃんの様子からお母さんの立場に立って考え, 思いを察する心があったからであることが分かる。 【心情】 バスの運転手さんがお母さんの立場に立って思いを考えたり, バスの乗客がお母さんや運転手さんの思いを汲み取って拍手をしたりした心のすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 相手の様子や立場からその人の思いを察する心は自分にもあることを自覚し, その心をもとにして行動しようとする思いを高める。	1 思いやりがある人はどのような人か考える。 2 「バスと赤ちゃん」を読んで, バスの運転手さんの行為と, 相手の立場に立って考え, 思いを察する心とのつながりを考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・相手の立場に立ち, 気持ちを考えて行動するよう促す。 ○道徳の時間 ・「バスと赤ちゃん」を読んで, バスの運転手さんの行為と相手の様子や立場からその人の思いを察する心とのつながりを考えさせる。 ○学級活動 ・相手の様子や立場からその人の思いを察して行動している人を見つけて, 友達と伝え合わせる。 ○読書活動 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語, 新聞記事の中から, 温かな心が伝わったり広がったりした例を探し, 紹介し合わせる。
付録	39. 妹の手紙 〔一生懸命に生きる〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】B 感謝	◎生命はかけがえのないもののあることを知り, 自他の生命を尊重し, 力強く生きようとする。 【理解, 判断力】 星野富弘さんや妹の生き方から, 生命は, かけがえのない大切なものであることが分かる。 【心情】 生命は, 自分の中にも, 他者の中にも等しく一つだけ存在することが分かり, 大切にしようと思っている登場人物に共感する。 【実践意欲と態度】 星野富弘さんや妹の姿から, 生命を大切にすることとは, その生命を輝かせてよりよく生きることであることを理解し, 力強く生きようとする。	1 P.177の資料「日日草」を音読し, 感じたことを話し合う。 2 「妹の手紙」を読んで, 生きることについて考え, 話し合う。 3 今日の学習から, 生命について考えたことをまとめる。	○保健 ・病気のけがについて調べ, 自分や家族の体験を話し合わせる。 ○道徳の授業 ・「妹の手紙」を読んで, 生命を輝かせて生きることの大切さを考えさせる。 ○日常生活 ・星野富弘さんの詩集を読み聞かせたり, 「命の大切さ」について描かれた詩や話を探して紹介させたりして, 多様な人の生き方に感動する体験をもてるようにさせる。
付録	40. ホペイロのヤマさん 〔チームの喜びを自分の喜びに〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎自分の役割に喜びを見だし, 自分の生き方を考え, よりよく生きようとする。 【理解, 判断力】 山川さんは, 自分の仕事に喜びを感じていることが分かる。 【心情】 チームの喜びを自分の喜びに感じる山川さんの生き方に, すばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 山川さんの自分の役割に喜びを見いだす姿から, 自分の生き方を考え, よりよく生きようとする。	1 ホペイロという仕事について知る。 2 「ホペイロのヤマさん」を読んで話し合う。 3 みんなの喜びを自分の喜びと感じた経験があることを思い起こす。	○道徳の授業 ・「ホペイロのヤマさん」を読み, 他者の喜びを自分のことのように喜ぶ心をもって生きていくことについて考えさせる。 ○係や委員会活動など ・みんなのためになることを見つけて, 積極的に実行することを促す。 ○朝の会 ・一定の期間を置いた後, 感じた喜びについて, 互いに紹介させる。